



木曾漆器のはし

問 出産環境整備を、杉並区の開業補助を参考にし塩尻市も予算づけできるか。(西條)

答 参考にしてできるところから取り組んでいく。

◆ ジャパン(漆器)スタート

問 出生記念品に、樹・本に加えて、漆器の箸やさじなどから選ぶのはどうか。(宮田)

答 現実的提案で、費用も変わらないので研究する。

◆ 難聴児補聴器購入助成事業

問 市の取り組みは。(宮田)

答 年内に県と同様の内容で助成し、市単独でも継続する。

◆ 元気っ子応援事業

問 相談の実施方法や内容に保護者から疑問や不安の声があるかどうか。(宮田)

答 事業検討会で、保護者が安心して相談を受けられるよう検討する。あらゆる機会に、継続的相談を周知徹底する。

◆ 元気っ子応援事業の現状は

問 「個別支援保育」での成果はどのような点か。(丸山)

答 子ども達の自尊心感情が高められ、友達への肯定や自分自身での気づきで行動修正ができる等の成長がある。自尊心感情は思春期を乗り越えるための大きな鍵である。

保育行政の拡充を



◆ 保育園への看護師の配置を

問 未満児を多く受け入れている保育園へのトータルケアを目的として、看護師資格をもつ人材を保育園へ配置する考えはないか。(金子)

答 保育事業の拡大が、子育て家庭の大きな支援となる反



楽しく遊ぶ園児



片丘児童クラブ

面、熱があっても親が面倒を看ることが出来ないような状態が子ども達の成長発達にとつてどうなのかといった課題もある。子ども達が保育園生活においての安心安全が図られるように、実施計画の要求をするまでの間に十分検討する。

◆ 市立保育園の定員は

問 社会福祉法人2園の開園による、市立保育園の定員への影響等はどうか。(鈴木)

答 来年度、定員減は行わない。吉田原保育園改築については、関係者、地元の意見を聴いていく。

◆ 児童館・クラブの現状は

問 今後の改修計画は。(青木)

答 片丘児童クラブは、施設も老朽化しており、片丘小学校の空き教室を活用した児童館を、平成24年に整備する計画としたい。

◆ 子育て支援について

問 子育ての終わった女性の支援で子育て中の女性の社会復帰の場所作りを。(西條)

答 子育て経験のある女性が積極的にかかわった児童館にする。

子ども達の健やかな成長を願って

◆ 安心して学べる教育環境を

問 読み(音読)が困難な児童・生徒に文字や絵を見ることで内容が伝わる「マルチメディアデザイン教科書」がある。導入活用状況は。(山口)

答 県内では音声を利用した教科書が活用されている。今後教育環境の充実をはかっていきたい。

